

第23回衛星開発・実証小委員会 議事要旨

1. 日時

令和5年8月25日（金） 10:00～10:45

2. 場所

内閣府宇宙開発戦略推進事務局大会議室及びオンライン

3. 出席者

中須賀座長、片岡座長代理、石田委員、倉原委員、白坂委員、鈴木委員、宮田委員

4. 資料

資料1 次期光学ミッションの方向性について

5. 議事要旨

次期光学ミッションの方向性について、文科省から説明された。各委員からの意見は以下の通り。

○ALOS-3 喪失が一つのきっかけとなって、利用ステークホルダーを入れた議論が進んだのは素晴らしい。新しい日本の光学観測衛星のあり方を作る第一歩として評価。開発インターバルを短縮してアジャイルに開発をし、改善を加えていく座組を作っていくことが重要。

○日本の光学観測衛星のあり方について、商業フェーズの小型コンステと、開発要素の多い三次元を同時に取り組むという新しい方向性が示された。今後、具体的なプロジェクトを検討する中で、達成する目標のプライオリティを明確にすべき。

○官民共創プロジェクトとのことであるが、運用の仕組みを含めてビジネスモデルをしっかり作りこんでいくべき。

以上